

防犯部より 緊急レポート

不審者発見時は即座に110番に通報を!

ここ数年、可児市の中で、皐ヶ丘の窃盗や空き巣被害は非常に少なくなっており(可児市の平均発生率の1/4~1/5程度)、安全な住宅街と評されてきました。しかし、今年になり急激に空き巣事件等が多発しております(大森含め4件)。又不審者、ストーカー等の情報も警察に通報されています。

これらのトラブルを未然に防ぐには、広報皐3月号掲載の「6項目の防犯対策」に加え、自治会員の「危険予

知能力」を高め、いかに犯罪を未然に防ぐかということが重要になります。

可児警察に相談したところ、「不審者を早期に発見し警察(110番)に通報するかが、差し迫った犯罪を防ぐ最良の手段である」とのコメントをいただきました。

警察は通報されれば県警指令(110番)より、最寄りのパトカーに指示、即座にパトカーが現地へ向かいます。このパトカー出動、巡回の威嚇により、犯罪を未然に防ぐ可能性があるのです。

不審者に明確な定義はなく、『怪しい』と感じるかは、発見者の感性に委ねられることが多いのですが、一般的には、

- 1) 見知らぬ人、違和感のある人が近くで行動をし、危険を感じる。
- 2) 家の中や庭を、念入りに覗き込む。
- 3) 持ち物、服装に違和感がある。

*注意 (警察の見解)

- 1) プロの犯罪者は決して不審者と思われる服装、行動はない。
- 2) プロでない犯罪者は違和感を見て取れる。
- 3) 昼夜関係なく犯罪者は行動する。

もしも、
警察ですか?



不審者かどうか迷う場合でも、念のため110番に通報すれば、警察はその内容を判断し、適切な対応をしてくれますので、気兼ねなく通報してほしいとのことでした。

工場や建設現場の災害対策、自然災害対策としての教育や訓練は一般的に実施されています。しかし、住宅街における防犯対策としての教育や訓練実施は難しいものです。防犯灯、防犯カメラなどのハード面は充実してきましたが、今後はソフト面(情報伝達、教育、意識高揚、訓練等)の充実が課題です。

児童センターは皐ヶ丘の未来とともに。

わたしたちの「皐ヶ丘」も近年、住民の高齢化が進み、自治会の様々な活動の運営にも影響が及んでいます。自治会はそれらの諸問題にも日々取り組んでおりますが、一方で、今後の皐ヶ丘を担う若い世代へも視線を向けていかなければなりません。つまり、子育て世代にとって「安心して子育てができる街」に変わっていくことも、今後の住民の減少に歯止めをかけることに繋がっていくのではないのでしょうか？

そこで今回は皐ヶ丘の子供達や子育て中の皆さんにとって憩いの場であり、成長の場でもある児童センターにお邪魔して色々とお話を聞いてきました。



綺麗で明るく広々とした玄関



受付では必ず来館者名簿に記入を



経験豊かな先生の皆さん



天井も高く広々とした体育室



体育室の竹馬やフラフープ



けん玉やコマなど昔の遊びも



幼児室は未就園児でも安心



ベビーベッドや電気マットも完備

「子供達を育むだけでなく、子育て世代の応援も」

広報部は今回、地区センターに隣接する「皐ヶ丘児童センター」にお邪魔して色々とお話を伺って来ました。近くにあるのに意外と知らない事が多く、この施設が子供達だけでなく、子育て中の親の皆さんにとっても大変頼もしい存在であることが十分に理解することができました。

児童センターは児童福祉法に基づき、子供達に健全な遊びを提供し、子供の体力アップや、心を豊かにすることを目的とした施設です。皐ヶ丘児童センターには学校や幼稚園の教員資格、保育士資格を持った「児童教育のプロ」である職員さんたちが毎日4〜5名常駐されていて、子供達は皆、親しみを込めて「先生」と呼んでいます。また、市からの指定管理者としてセンターの運営に携わるのは民間の会社で、フードサービスなどで有名な「シダックス」のグループ企業である為、施設の清掃管理や、使用された遊具やおもちゃなどの消毒なども徹底して行われています。

来館対象年齢は0歳から18歳までとなっていますが、コロナ禍においては学校が休校

となってしまうた為、高校生が児童センターで先生たちとお話をしたり、本を読んで過ごしたりすることも少なくなかったそうです。また、産後のママさん達を対象にした親子ヨガ、産後の体力作り、先輩ママのアドバイスなどの企画を行い、大人のための育児支援活動も行っています。一般的に「児童センターは小さな子供達の為の施設」といったイメージがありますが、より幅広い地域の皆さんの生活に関連した活動も行っているのです。

体育室に入ってみるとビックリ。天井も広く、子供たちがのびのびと身体を動かすのに十分な広さがあります。ここでは子供達がボール遊びをしたり、現在はコロナの影響で休止中ですが、卓球やバドミントンをしたりも出来ます。また、土曜日には「チャレンジ」という企画があり、竹馬やフラフープ、けん玉、コマなどを使って日本の伝統的な遊びを体験しながら、体力面の向上も図れる工夫がされています。

幼児に関する企画も大変充実しています。幼児クラブでは0歳(すくすくひろば)、1歳(

「子供達に楽しさを提供したい、健全な心と身体を育んでもらいたい」

ママとあそぼう、2歳(おともだちとあそぼう)の小さな子供を対象にした定員制プログラムがあり、リズム遊びや体操、風船あそびや記念のカード作りをしたりと、先生方がその年齢の子供にあつた最適な内容を考えてプログラム作りを行っています。また、毎月開催される「ひよこ・こっこタイム」では専門の先生が未就園児親子を対象に楽しい遊びと共に子育て教室も行い、色々とお悩みの多い子育てに関する適切なアドバイスを受けることも出来ます。

図書室には子供達にはお馴染みの本がずらりと勢揃い。幼児向けの絵本から、小学生の好きな図鑑や伝記などもたくさんあります。また「鬼滅の刃」や「ドラゴンボール」のような漫画の本も多数揃えてあります。ここでは子供達は本を読んだり、先生が用意して下さった塗り絵を楽しんだり、ボードゲームをしたりして過ごさすようです。また、最近是指先を使うことが苦手な子供が増えているそう、二つ編み、四つ編み、ミサンガ作りなどの編み物を用いた「静の遊び」を常時楽しめようという工夫もされています。

外の公園は小さいながらも、職員室から常に外の様子を見渡せるようになっています。そこにはブランコや鉄棒などもあり、子供達に大人気です。砂場では「どろ団子」作りをする子供達もいるそうで、館内だけでなく、建物周辺も子供達の「良き遊び場」となっているようです。「母親クラブ」の皆さんがボランティアで公園の花壇に綺麗なお花を植栽されたり、近所の方が野菜やサツマイモを植えたりにしてくれているそうで、収穫シーズンには子供達が「芋掘り体験」をする事も出来るようです。

この数年間、コロナ禍で子供達の行動が制限されて来ましたが、その中で、児童センターの先生方も大変苦勞をされてきたようですが、何とか子供達に楽しさを提供したい、健全な心と身体を育んでもらいたいとの強いお気持ちから、日々児童センターの運営に努力されて来たのが良くわかりました。また、「コロナが終息した後は以前のように地域の皆さんと協力して「縁日」や「防災訓練」のような行事を復活させていきたい」と仰られておりました。

この取材を機に、皐ヶ丘のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの皆様に安心して子供達が集える場所である「桜ヶ丘児童センター」をより知って頂き、地域に密着していくことができれば、この皐ヶ丘は更に「安心して子育てできる街」なっていけるのだと確信できた取材でした。桜ヶ丘児童センターの先生の皆様、取材のご協力誠にありがとうございました。



桜ヶ丘児童センター
 可見市皐ヶ丘6-1-1 TEL:0574-64-4001
 開館時間:午前8時30分から午後5時まで
 休館日:日曜日、祝日、第1と第3月曜日
 詳しい活動内容はホームページをご覧ください
<http://www.kani-jidou-sdx.net/>
 指定管理者:シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

桜ヶ丘児童センターからのお願い
 万が一の事に備え、ご利用際には必ず受付で「来館者名簿」にご記入をお願いします。



子育てに関する書籍も多数



静かな環境で読書も可能



編み物を使った「静の遊び」も用意



子供達のぬり絵作品が並ぶ



図鑑や伝記などの児童書も豊富



母親クラブが有志で植栽する花々



外の公園施設にはブランコも



職員室から外も常時確認できる

このあたりの歴史風土記 20

齊藤千勝

桜ヶ丘とその周辺の歴史風土記第20回は曼陀羅寺です。

寺は、浄土宗の古刹で西山派に所属する西山(せいざん)浄土宗で日輪山遍照光院曼陀羅寺といいます。縁起によれば、元徳元年(1329)後醍醐天皇の勅願により、天真乗運(てんしんじょううん)の開基として創立されたといわれています。開山天真乗運上人は藤原師継(もろつぐ)の八男で、後醍醐天皇の母の檀門院の弟にあたり、徳望学識が高かったといわれています。境内は、正堂を中心に、西に曼陀羅堂、北に書院、庫裏を配して、南前方に南門、中門をおき、中門の東脇に地蔵堂を配置しています。その他にも鐘台、宝蔵、塔頭8箇寺があり、寺域合わせて1万3千坪にも及ぶ広大な浄土宗伽藍を構えています。尾張徳川藩より寺領231石余りを給地されていた名残りとどめています。正堂は、棟札によると、寛永9年(1632)蜂須賀小六家正が再建したものです。曼陀羅寺は昭和45年に寺域の一部を提供し、江南市の管理のもとに曼陀羅寺公園として整備されて観光の寺として有名になってきました。この公園は境内約43,000平方メートル(13,000坪)の内約10,000平方メートルを公園としたもので、その中には宝蔵、八幡社、平和塔、児童公園、稲荷社、放生池、さらに休憩所の藤華庵などがあります。また市は、隣接地約3,000平方メートルを購入して屋外ステージを整備し、昭和60年、現在の曼陀羅寺公園(13,000平方メートル)が完成しました。園内には11種類約60本の藤が植えられて「曼陀羅寺の藤」として大変有名となっています。公園内で咲き乱れる藤の花は見事で、毎年4月下旬から5月上旬まで「藤まつり」が行われ、近隣はもとより県外からも訪れる観光客が多くなっています。曼陀羅寺で有名なのは、他に牡丹、躑躅(つづじ)、オオヤマ蓮華などがあります。



※訂正:風土記19回にて「次回は永保寺(その1)についてお話します」とありましたが、曼陀羅寺に変更させて頂きました。

自治会活動報告

執行委員会報告/3月4日(土)開催分

1.不審者対策について

- ・阜ヶ丘における空き巣被害や不審者情報が自治会にも多数寄せられています。各ご家庭で防犯意識を高めてもらう為に注意喚起のチラシを配布しました。
- ・改めて広報にも掲載します。

2.リサイクルステーションの立会当番について

- ・班長会議のときに、6丁目の方から、立会時刻を7時半から8時までの30分間にしたいと依頼がありました。高齢者には1時間の立会は負担になるとのことです。この件に関しては、次年度の新執行部で協議し、方針を定めて頂くこととします。

3.阜ヶ丘地区内の治安について

- ・警察にパトロールの強化を自治会として求めています。青パトについても、有効的な活用を見出していきます。

今回で41期自治会の執行委員会も最後となりました。1年間無事に活動運営出来たのも、自治会の役員の皆様のお蔭であると思いません。一年間大変お疲れ様でした。

阜ヶ丘自治会 41期広報部から「さよなら」のご挨拶

Farewell Messages From Us

部長 松山

まずは、1年という短い期間でしたが41期広報部の広報にお付き合ひ頂き、誠に有難うございました。広報誌発行に関して何も知らないも者でしたが、お互い助け合い、協力しながら「少しでも住民の皆様にお役に立てる情報を提供しよう」と力を合わせて頑張っておりました。この度、広報部の職責を全うできたのも、良きチームに巡り合えたからだと思います。村山さん、伊藤さん、いつも助けてくれてありがとうございます。そして、素晴らしい経験させてくれた自治会にも感謝申し上げます。

委員 伊藤

一年前、胸はドキドキ、頭の中は真っ白状態が私の広報部のスタートでした。この一年、地震体験車では震度7を体験し、東可児交番での取材、児童センターでの取材、その他の行事にも参加ができ、とても貴重な経験をさせて頂きました。会員の皆様に広報誌を読んで頂く為に、松山部長、村山副部長と共に一年間頑張れたことは、とても感慨深いと思います。皆様にご協力を頂き、無事に広報部を終えることができました。一年間ありがとうございました。

副部長 村山

広報の仕事も4月号の配布をもってようやく終わりました。打ち合わせ、原稿チェック、取材、配布の準備など広報部3人で集まることも多く、学生の頃の委員会活動が思い出されました。不思議な連帯感をも感じました。リーダーシップを発揮し、迅速に仕事をこなす松山さん、冷静で細やかな配慮をくださる伊藤さん、このお二人と出会えたことが何よりです。「広報誌」を手に取ってくくださった皆さん、ありがとうございました。